

## 新たな広報の取組

(地域整備課)

企業局では、地域振興整備事業による工業用地造成のメリットや、期待される高い経済効果について、幅広い県民の理解を促進するため、様々なツールを活用した広報活動を行っている。

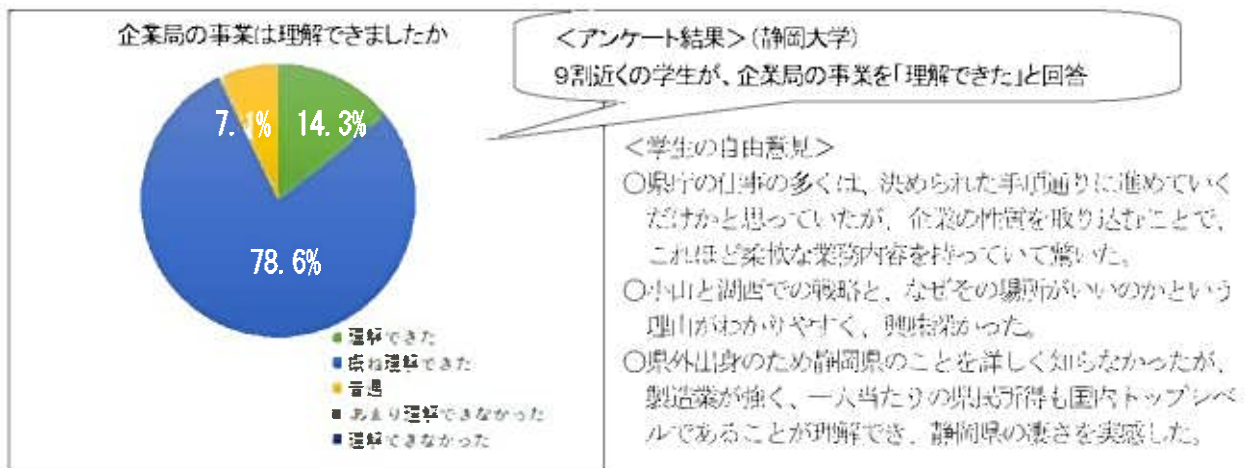
令和3年度は、これまでの取組に加え、大学における講義や経済産業部企業立地推進課と連携した取組を行っている。

### 1 大学における講義 ～“まちづくり”と工業団地の整備～

当委員会の小泉祐一郎委員に御協力いただき、田中次長が「“まちづくり”と工業団地の整備」をテーマにゲスト講師として講義を行った。

内容は、企業局が実施している3事業（工業用水道事業、水道事業、地域振興整備事業）の概要や経営革新の取組のほか、地域振興整備事業による「市町が考える“まちづくり”の実現」に向けた取組、工業用地造成により期待される経済波及効果、エビデンスに基づいた開発候補地の選定等について説明した。

日付	対象	備考
R3.9.17	静岡大学人文社会科学部	「行政学」講義
R3.11.15	静岡産業大学経営学部	「都市マネジメント」講義



### 2 経済産業部企業立地推進課との連携強化

○令和3年度 企業立地専門研修会における説明（令和3年9月13日）

- ・主催：静岡県企業立地市町推進連絡会（事務局：県経済産業部企業立地推進課）
- ・対象：県内市町企業誘致担当職員
- ・目的：地域振興整備事業について、開発事例や経済波及効果、企業局事業のメリット、事業フローなどを具体的に説明し、市町担当者の理解を深めること
- ・研修会終了後のアンケートでは、市町から「今後、県や企業局と直接話をしたい」「他市町の取組事例は特に参考になった」などの意見があり、市町における構想の具体化に向けた取組の加速化が期待される。



## 進出企業の決定について（富士大淵工業団地）

（地域整備課）

## 1 要旨

令和4年度中の引渡しに向けて、企業局と富士市が連携して事業に取り組んでいる富士大淵工業団地について、富士市が進出企業の公募を行った。

県内外の12社から応募があり、審査の結果、下記6社の進出が決定し、11月22日公表した。進出企業6社のうち4社は関東・関西に本社を置く県外企業であり、うち1社は本県初進出である。

引き継ぎ、様々な創意工夫を行いながら、早期完成・引渡しを目指して取り組んでいく。

## 2 進出企業一覧

区画	企業名	本社所在地	業種	面積	備考
①	太洋紙業㈱	富士宮市	紙製品製造業	7,271 m <sup>2</sup>	
②	ミントハウス㈱	埼玉県	食料品製造業	4,661 m <sup>2</sup>	
③	㈱エマナック	大阪府	金属製品製造業	4,061 m <sup>2</sup>	新会社設立
④	㈱コーチャー	富士市	紙製品製造業	11,260 m <sup>2</sup>	
⑤	高岡食品工業㈱	兵庫県	食料品製造業	9,600 m <sup>2</sup>	本県初進出
⑥	埼玉プレス鋳造㈱	埼玉県	自動車部品製造業	9,450 m <sup>2</sup>	

